



# かたくり

学校教育目標 夢ふくらませ 心かがやく



令和3年度  
第18号  
2021. 7.16

## 子どもたちの経験を深める外部講師を招いての学習や体験活動①

### 【3年「交通安全教室」(講師：仙北市交通安全母の会の皆様)】



12日に、3年生は、仙北市交通安全母の会の皆様方から、交通事故防止にかかわる大切な留意点を教えていただきました。

走っている人は急に止まることができないことから、スピードを出し走っている車がいかに危険であるかということや周りをしっかりと見ることで、危険なことから自分のからだを守ることができるということなどを実際の体験を通して分かりやすく教えていただきました。また、車の運転手に分かってもらえるように、手を挙げて横断することの大切さも教わりました。日常生活の中で、今回の体験活動を思い出し、絶対に交通事故に遭わないよう気を付けてもらいたいものです。



### 【5・6年「命の大切さ学習教室」講師：K様(横手市在住)】



13日に、5・6年生は、交通死亡事故被害者遺族である横手市のK様を講師に、命の大切さについて考える学習をしました。K様は、16年前に、下校中の事故で息子さん(当時、小学1年生)を亡くしてしまった経験を子どもたちにお話をしてくれました。

子どもたちは、Kさんの悲しさや苦しさ、喪失感などをそのお話から感じ取り、与えられた命を大切にすることの必要性を再確認していました。子どもたちが真摯にお話を聞く姿がとても印象的でした。この貴重な体験を是非とも生かしてほしいと感じました。

### ～子どもたちの感想から～(一部抜粋しました)

私は、事故で家族が悲しい思いをしたということを知り、まわりの友達や家族をもっと大切にしたいと思いました。それと、今、当たり前のように生きているのは、とてもうれしく奇跡のようなことなので、一日一日を大切にしたいと思いました。(6年 K.Yさん)

自分の気持ちを(私たちに)しっかりと伝えてくださってありがとうございました。私は、Kさんがおっしゃっていたように、命を守らないとだめだと思うので、道路を横断するときは、毎回、恥ずかしながら手を挙げて横断しています。これからも「恥ずかしい」よりも「命を守る」ことを優先して、しっかりと手を挙げて横断していきたいです。(5年 S.Tさん)

